

# 東葛支部会報

第30号

千葉工業同窓会東葛支部

2018年5月1日



## 日本の名城シリーズ その7

**二本松城**（別名霞ヶ城、白旗城と呼ばれ、二本松城跡として国の史跡に指定）

この城は二本松市街地の北に位置し、麓の居館と、標高345mの「白旗が峰」に築かれた城郭からなる梯郭式の平山城である。江戸時代は二本松藩丹波氏の居城となった。現在は「霞ヶ城公園」として整備されており、石垣と再建された箕輪門がある。山上の本丸には天守台、石垣が近年になって再構築された。また、城の入り口には二本松藩7代藩主・丹波高寛が、家臣で儒学者の岩井田昨非の献策により、一夜のうちに自然石に藩政改革と綱紀肅正の指針を刻ませた「戒石銘碑」があり、1935年に「旧二本松藩戒石銘碑」として国の史跡に指定されている。

築城 室町時代中期      廃城 1872年(明治5年) (ウィキペディアより引用)

今年の冬は近年に無く、寒暖の差が激しかったように感じましたが、同窓会会員並びに、支部会員の皆様はどうでしたでしょうか？

私も今までに、インフルエンザにやられた事はありませんでしたが、今年は違うタイプのウイルスに二度かかりまして、往生しました。

東葛支部も今年は「十九の春」を迎え、総会の6月10日には初夏になり、来年は成人式を迎えます。

ところで、イギリスで発祥した結婚記念日があります。

最初の15年迄は1年毎にあり、その後5年毎に全部で24回の記念日があります。

15年目は「水晶婚」20年目は「磁器婚」25年目は「銀婚式」30年目は「真珠婚式」35年目は「珊瑚婚式」50年目は「金婚式」55年目は「エメラルド婚式」そして60年目は「ダイヤモンド婚式」だそうです。

東葛支部会員は、現在26名ですが、多くは最後の年代に近づき、残すは「葬式」のみとなる会員が増加してきます、、、、。笑い。  
この紙面をお借りしまして、東葛支部会員の皆様はもちろん、どうか各支部の若い会員様の「ちから」をおかりしまして、(東京並びに近県の同級生にお声をかけていただき、東葛支部への勧誘をお願いします。)会員の勧誘は同級生のお力を借りるのが一番ですので!!



最後に「健康十訓」を記して終わりとします。

健康は 嬉しい 美しい 素晴らしい  
なにはなくても やっぱり 健康

- 1) 小肉多菜  
お肉ほどほど 野菜たっぷり 健康もりもり
- 2) 小塩多酢  
塩分取りすぎは高血圧のもと  
酢は健康のもと
- 3) 小糖多果  
甘いものは果物から  
砂糖は肥満への直通キップ
- 4) 小食多嚙  
腹八分目で良く噛みゃ  
幸せも噛みしめられる
- 5) 少衣多浴  
薄着で風呂好きの人は  
健康を身につけている人
- 6) 少言多行  
ぺらぺら喋っている間に 行動を開始せよ
- 7) 少欲多施  
自分の欲望のために走らず  
他人のために走れ
- 8) 少憂多眠  
くよくよしたって同じ とっとと寝てしまおう
- 9) 少車多歩  
自動車は確かに速い  
でも歩けば健康への近道
- 10) 小憤多笑  
怒ったときでも ニコニコしていれば  
忘れてしまう

## 千工祭(文化祭)に参加して

富田 博(44M)

文化祭と聞くと非常に懐かしくなってきます。

私の場合“津田沼校舎”“生実校舎”と両方の文化祭を経験してしまして、やはり鮮明に残っている文化祭はやはり“生実校舎”の文化祭ですね。



40年代の卒業生でして、たしかあの当時“前夜祭”“後夜祭”と盛り上げる為に催し物がありました。なかでも、グラウンドでキャンプファイヤーを行って、火の回りに輪を作りフォークダンスを行いました。他校の方も飛び入りで楽しい思い出が残っております。

さて、同窓会が「千工祭」に出展をはじめたのが、平成26年から、大きな目的としては県内7支部の活動状況、そして在校生と卒業生の交流の場として提供し、同窓会のなお一層の発展に寄与する目的です。

卒業生が学校へ行くチャンスもなかなか無く、唯一の方法として千工祭を見学することにより、学校の状況、同窓会の活動状況も分かります。皆さん一人でも多く参加しましょう。



## 新設「セブンパークアリオ柏」で秋の定例BBQ大会

金子 賢二(34M)

台風一過の好天気を期待した9月20日、朝から曇天だったが雨の心配のない高曇りで気温もまずまず、BBQには最適な天候となった。

柏駅東口から「沼南車庫行」のバスで20分。「セブンパークアリオ柏前」で下車すると3階建ての大きな商業ビルが出迎えてくれた。この一角を目指すBBQ会場があるは



ず(?)、早速ビルの中央目指して歩き出す。しかし、BBQ会場を示す案内板は一つも見当たらずビルの中に入りキョロキョロ。集合時間には余裕があったのでコーヒー店に立ち寄る。テイクアウトを注文した際に、「どちらに行かれるんですか?」と若い店員に訪ねられた。買い物客ではないのが判ったのか?「こちらでBBQをやる約束をしているんです」と応えたと「いいなあー、このビルの裏側にありますよ」との返事、訪ねようとした答えが返ってきちゃった。

コーヒーを飲みながらビルを突き抜けると「スマイルパーク」という人工芝を敷き詰めた広々とした広場の先に白い三角屋根の並んだBBQ施設が見えた。時間はまだ早い。仲間の姿も見当たらないので一人のんびりと歩き出す。

会場は小高く造成されたところにあり、4人掛けテーブル20脚ほどが白いテントの下にある。雨天でも使用できる状態だ。中央の係員建家を訪ね予約したテーブルを教えてもらう。程なくして仲間が揃い、定刻を過ぎた所で一年ぶりの定例会 & BBQ大会が開かれた。

支部活動や支部長会議報告などが済んだところでBBQ大会に移り、まずはビールで乾杯してスイッチを入れる(電気がまどでした)。担当は支部で一番若い加藤氏に任せ

た。鎌田氏から「紙トンボ」の講釈を聴きながら手作りトンボの実作業に入ったが、後期高齢者には指導されても手も頭も思うように働かず悪戦苦闘。BBQの制限時間が迫った頃には程よい酔い心地と手作りトンボも完成し、目の前に広がる「スマイルパーク」でテスト飛行を始めることになった。

我ら8人が自作の紙トンボを飛ばしていると、親子連れが一組、二組と周りに集まってきた。仲間の一人が子供(3歳)に「一緒にやろう」といって紙トンボを手渡すと大喜びで自慢げに母親に見せていた。教えてもらいながら何とか飛ばそうと一生懸命両手を摺り合わせているのを見て、こちらの方がうれしくなった。

20分ほど遊んだだろうか? 帰り際に「これあげるよ!」と紙トンボを子供に差し出すと母親と一緒に「ありがとう」と笑顔が返ってきた。なぜか心が温かくなった帰り道が印象に残った。



## 第50回日本女子オープンゴルフ選手権大会のボランティアに参加して

2017.9.28~10.1(日)我孫子ゴルフ倶楽部に於いて首題のゴルフ大会が開催され

中村 軍治(32M)  
ました。このゴルフ場で大会があったのは、



2002年のシニアゴルフ選手権と8年前の女子オープンであったと記憶しています。ボランティアを始めたのは、シニア大会の時で63才の時で若かったが、今回は78才の高齢で勤まるか心配していたが、結果的に問題は無かった。職種は前回ホールマーシャル(コース整理員)でギャラリーの誘導や、グリーン回りで「静かに…」と記した看板を掲げる作業でしたが、今回はギャラリーの受付業務でした。男女合わせて7名位でゲートに3列に並べたテーブルに沿って、当日の組み合わせと前日のスコアや、コース案内を記したB4のシートを来客に配布する作業が主体です。(入場券の受取や、当日券の販売は職員が行ってくれました)

今回は初日の9/28が朝の内大雨で、スタートが11:00と大幅に遅れた。このため40組120名の内半数がホールアウト出来ず、2日目はグリーン上からや、2ndショットからなど、サスペンデットとなった。組合せ表も後半は間に合わず、入場者も数千人(天王台駅から大型のシャトルバス10台位で押し寄せる)が

続きシートの組み合わせとプレイが一致せず渡す方は知らないふりするしかなかった。こうして混乱は最終日まで続いた様だ。

NHKで4日間共放送していたので、最終回は家でテレビ観戦をしました。

ボランティア(1日200名位参加)の良いところは、業務終了後(受付は14時迄)はギャラリーとして無料で観戦出来る事と、後に格安でゴルフのプレイに招待してくれる事であるが、今回は昼食を除き2万円程度の為と肩の痛みが有った為参加しなかった。

因みに15年前はグリーンフィが1000円食事込み1万円が出来た。

最近では女子選手の名前と顔が余り分からず、知っているのは、今回の参加では、宮里美香や横峰さくら(いずれも予選落ち)、上田桃子、柏原明日香などです。やはり韓国勢が目立ち、スタイルも抜群の感がありました。

20アンダーで2位に8打差で優勝した畑岡奈紗は茨城県笠間市出身で去年はこの大会にアマチュアで優勝し、今回はプロで連覇しています。

プレイが良く見られるのは、やはりTVが良いですね、我孫子GCは改造後大グリーンがポテトチップスの様に大きく波打っています。畑岡プロは10数メートルものロングパットを数回決めていました。これが勝因でないかと思いました。

ボランティアは無償ですが、朝食はおにぎりとサンドイッチが日替わりと飲み物、昼は幕の内弁当と飲み物、半袖のベスト、大会名入

りの帽子、簡易雨ガッパが支給されます。

業務終了後は作業着等を脱いで一般のギャラリーと共に観戦することが出来ます。

きついのは集合が朝5時で薄暗い早朝、

## 私のこだわり

土屋 孝夫(34M)

振り返ってみれば、私が初日の出の写真を撮り始めてから、10数年が過ぎ去っている。

住んでいる所は神奈川県川崎市溝口で、東京都と神奈川県の境を流れる多摩川には徒歩20分くらいで行く事が出来る。過去の撮影記録を見てみると、2007年多摩川の河原、2008年横浜大栈橋、2009年多摩川の河原、2010年平塚海岸、2011年生田緑地の枡形山展望台、2012年曇の為撮影なし、2013年多摩川に架かる新二子橋、2014年多摩川の河原、2015年富山県雨晴海岸、2016年多摩川に架かる新二子橋、2017年多摩川に架かる新二子橋、2018年多摩川に架かる新二子橋であるが、やはり多摩川の河原や川に架かる橋の上からの撮影が多くなっている。毎年同じ場所からでは変化がないので、年

車で専用駐車場へ向かう事です。

大会の写真に掲載すれば良かったが、撮影禁止の為残念でした。

の暮れになると撮影場所を探すのに悩む。車の運転が出来ないわが身、従って電車の時間を調べ、日の出の時間に間に合う場所を決めることになる。日の出の時間は若干の差はあるが、ほぼ7時過ぎとなる。

2008年横浜大栈橋で撮影の時は、前夜大晦日のカウントダウン等のイベントを過ごしたと思われる若者たちが大勢いて、日の出と共に歓声を上げていた。



2010年の平塚海岸では、平塚太鼓保存会の人たちが、寒い中おそろいの薄着の衣装で、日の出と共に太鼓を打ち鳴らす姿に感動した。海から上る初日の出、振り向けば青い空に白い帽子をかぶったような富士山が見えて、語る言葉もなくただ見つめるばかりであった。





表日本からの初日の出ばかりでは、面白くないと思っていたさなか、旅行会社から、富山県雨晴海岸(あまはらしかいがん)での初日の出を見る旅行企画があり、これは良いと何も考えずに申し込んだ。その結果見るもあわれ、本来晴れていれば写真中央に、立山連峰が望め、その山の上から日が出てくる風景が現れるはずであったが、何も現れない情



景では語る言葉すらない。良く考えれば天気予報でも、この時期の北陸地方は、雨か雪ばかりで晴れる日はほとんどない、正月を他県で迎えられたことをかみしめる事しか出来なかった。

2016年5月に思いもよらぬ病気に会い、6月の東葛支部総会時、各役員の方々に多大なご迷惑をおかけしたことを、この紙面をお借りしてお詫びいたします。そんなことから、2017年の初日の出撮影は駄目かと観念していたが、12月に治療が終ったので、何とか近くの多摩川の橋の上から見る事が出来た。

2018年も早朝約20分寒い中を歩き、多摩川に架かる橋の上から初日の出を見ることが出来て、今年1年無事に過ごせるようお願いをした。

この様に毎年続けてきた初日の出の撮影、病氣克服したようであるが、年もそれなりに重ねていることから、何処まで続けられるかと思いながら、早くも来年の初日の出を、何処から撮影しようかと思い始めているのも現実である。



## 千工会東葛支部主催の「男の料理教室」が、昨年11月15日に、高柳近隣センターで開かれました。

この企画は東葛支部としては初めてのものです。参加が心配されましたが当日は6人が参加。講師は「東葛北部栄養ケアステーション」の中村さんでした。



当日のメニューは、①きのこの炊き込みご飯 ②ミョウガと根菜の香り味噌汁 ③生鮭のカレームニエルとカリフラワーのサワー煮 ④キャロットサラダ ⑤炊飯器を使ったりんごのタルトの5品。初めての人にはびっくりの盛りだくさんのメニューとなりました。

中村講師による分かりやすく親切なご指導で、参加者は慣れない手つきながら調理に挑戦していました。

きのこの炊き込みご飯は思ったよりも易しく、全部の材料を炊飯器に入れるだけ。意外に難しかったのは、生鮭のカレームニエルとカリフラワーのサワー煮。生鮭に小麦粉とカレー粉を混ぜたものをまぶし、フライパンで焼

くのですが、両面をこんがり焼くのは結構難しい。その間にカリフラワーを茹で、レモン果汁などで味付けをしなければならず、ちょっとバタバタする場面も。

難しいと言えば、キャロットサラダのニンジン千切りにする作業も結構時間がかかったようです。

炊飯器でつくりりんごのタルトはなかなかの出来。こんなに簡単にスイーツが作れるのにはちょっとびっくり。

何とか全メニューを作り終え、いよいよ試食会。講師を交え7人の会食はなかなか楽しいものでした。「これはおいしい」「ちょっと焦げすぎ」「家でも作れるかな」など感想を出し合いながら楽しいひと時でした。



「ぜひ、また企画してください。お目にかかる日を楽しみに」との講師の励ましで、楽しい料理教室は幕を閉じました。



## 読書 ～つれづれなるままに～ 徒然草(5)

### 第百九十段 独身礼賛論 —

#### 妻(め)といふものこそ

##### (原文)

妻(め)といふものこそ、男(おのこ)の持つまじきものなれ。「いつも独り住みにて」など聞くこそ、心憎けれ。「誰(たれ)がしが婿になりぬ」とも、また、「いかなる女を取り据えて、相(あい)住む」など聞きつれば、むげに心劣りせられるわざなり。

殊(こと)なることなき女を、よしと思ひ定めてこそ添ひぬたらめと、賤しくも押し量られ、よき女ならば、らうたくして、あが仏(ほとけ)と守りいたらむ。

たとへば、さばかりにこそとおぼえぬべし。まして家の内を行ひ治めたる女、いと口惜し。子など出(い)で来て、かしづき愛したる、心憂(こころろう)し。男亡くなりて後、尼になりて年寄りたるありさま、亡き跡(あと)まであさまし。

いかなる女なりとも、明け暮れ添ひ見むには、いと心づきなく、憎(にく)かりなむ。

女のために半空(なかぞら)にこそならめ。よそながら、時々(ときどき)通ひ住まむこそ、年月経ても絶えぬ仲らひともならめ。あからさまに來て、泊(とまり)いなどせむは、珍しかりぬべし。

##### (訳)

妻というものは、男の持つてはいけないものである。「いつまでも独身でいる」などと聞くと、その男性の人柄に深みを感じられる。

だから「どこそこの婿に入った」とか、また、「これこれの女を家に入れて同居している」などと聞くと、心底、幻滅を感じさせられてしまう。

どうせ、たいしたこともない女を最高だと舞い上がって、夫婦となったに違いないと、男の態度が安っぽく想像されてくる。反対に、いい女ならば、かわいがって自分の守り本尊のようにたいせつに世話しているのだろう。たとえてみれば、そんな程度だろうと思われてくるはずだ。

これらにまして、家庭をきちんと切り回す女はじつにつまらない。子どもなんか出来て、愛情こめて育てる姿にはうんざりさせられる。さらに、夫の死後、尼になって年をとるさまは、夫の生前中はもちろん死後までもひどいものだという気がする。

どんな女だろうとも朝晩いっしょに顔を突き合わせていたら、気にいらぬ点が出てきて、いやになってくる。それは女

にとっても家庭内離婚のように、中途半端な状態になるだろう。

要するに、互いに離れて暮らしているままで、ときどき女を訪ねて泊まるような形にすれば、長年たっても二人の仲は切れることがないだろう。

不意に訪れていっしょに寝泊まりなんかすれば、二人とも新鮮な気分を味わえること間違いなしである。

### (まとめ)

言いたい放題だが、単なる女性蔑視論でもない。

現代に通用する非婚論の草分けだ。

それにしても、女性観察の鋭さには舌を巻く!!

この手厳しい女性批判に、いまさら解説は不要だろう。

徒然草の中で、兼好は女性をもちあげたり、くさしたりで、評価が定まらない。

そのことを、矛盾だと批判する向きもある。そうではあるまい。

自由人兼好の冷眼は、女性擁護も女性蔑視もどこ吹く風で、超然たるものなのだ。

だからこそ、これほどまでに急所をついた極論が吐けるのである。

そうは言っても、若き日に兼好はよほど醜い失恋経験をしたのだろうか、と疑ってみたくもなる。

(参考文献 角川書店 徒然草)

(記 34M 坂巻 実)



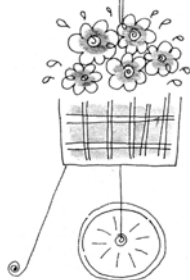
## ●皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい●

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員の中かで一応の担当者を決めてあります。会員の皆様のご趣味・得

意な分野・特技などを把握し、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。趣味や得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

● ゴルフ	土屋 孝夫	〒213-0001	川崎市高津区溝口3-18-17	TEL.044-844-2767
● ハイキング 釣 り	土屋 孝夫	〒213-0001	川崎市高津区溝口3-18-17	TEL.044-844-2767
● 囲碁・麻雀	高橋 健一	〒270-0157	流山市平和台5-400	TEL.04-7159-9367
● スーパー 紙とんぼ	鎌形 武久	〒270-2241	松戸市松戸新田21-3	TEL.047-364-5084
● 茶 道	冨田 博	〒272-0015	市川市鬼高3-12-39-516	TEL.047-393-0850

### 今後の予定



#### 東葛支部の予定

平成30年  
 5月19日(土) 15:00～  
 定例会議(高柳近隣センター)  
 6月10日(日) 13:00～  
 第20回支部定期総会  
 (我孫子・鈴木屋本店)  
 7月(日時未定)  
 定例会議(高柳近隣センター)  
 9月19日(水) バーベキュー大会  
 場所: 柏セブンパーク・アリオ  
 11月14日(水) 「男の料理教室」  
 場所 未定

#### 本部・他支部関係の予定

平成30年  
 5月10日(木) 10:00～  
 常任幹事会(千工会館)  
 5月10日(木) 14:00～  
 記念講演会「パイプオルガン マイスター」  
 5月13日(日) 14:00～  
 市原支部定期総会(市原市:五井グランドホテル)  
 5月26日(土) 14:00～  
 同窓会総会(千工会館)  
 6月2日(土) 14:00～  
 北総支部定期総会(佐倉市:ホテルリッチタイム)  
 6月24日(日) 11:30～  
 同窓祭(JFE宮崎クラブ)

## 編 集 後 記

いつも、何時も編集の最後に迷走する編集後記。先日、こんな本がありました。

定年後、残された時間をどのように輝いて過ごすことができるかという題名の本がありました。

さて、この会報をお読みの方はどのように過ごされていますでしょうか。世間では、定年後イキイキと輝く時間を過ごされている方は全体の2割ほどの方とか。定年後の過ごし方として図書館、大型ショッピングセンター、スポーツクラブ、喫茶店(カフェ)等を利用している方が多いようです。定年後、残された65歳から85歳までの時間を考えますと20数年という結構な時間です。この時間を地域のボランティア活動、趣味に時間を使っている方、いろいろあります

が、人によって過ごし方の違いがあります。さてさて仕事、仕事で過ごしてきた皆さんはどのように過ごしていますか。

そこで、少しの時間でもよいのですが同窓会活動に使ってみてはいかがででしょうか？

千葉工業高校同窓会は県内7支部もある団体でして多岐にわたる活動を行っております。定年後、持て余す時間を自己完成の為、また、次の後輩の為に使ってみてはいかがででしょうか？

時代を超えて、「もう一度あの熱き時代を過ごした学生時代」をテーマに語り合うのも良いのではないのでしょうか？

今後も千葉工業高校同窓会東葛支部に熱いご声援をお願いします。

## 新入会員募集と入会手続きについて

東葛支部では、会員を増やしてどんどん組織を大きくしていきたいと思っています。このため、役員の中に「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

1. 入会資格 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、ならびにかつて同校に在勤、在学していた方で支部長が認めた方。  
東葛地域に居住している方及び千葉県外に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。
2. 会 費 年会費 3,000円
3. 入会手続 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

## 支部会報第31号の原稿募集

東葛支部会報第31号の原稿を募集します。

1. 発行予定 平成31年4月
2. 原稿締切 平成31年2月
3. 内 容 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ・イベント報告 等、何でも結構です。
4. 投稿方法 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX(自動受信)・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
5. 投稿先 編集委員長 中村軍治 〒270-1166 我孫子市我孫子1-3-17  
TEL:04-7182-3779 E-mail:nakagu@jcom.home.ne.jp  
編集委員 土屋孝夫 〒213-0001 川崎市高津区溝口3-18-17  
TEL:044-844-2767 E-mail:golf-t@tbn.t-com.ne.jp  
編集委員 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516  
TEL:080-6532-9506 E-mail:c-tomi@rr.em-net.ne.jp

東葛支部会報

第30号

発 行	平成30年5月1日
発 行 者	千葉工業同窓会 東葛支部
発行責任者	支 部 長 坂 卷 実
事 務 局	事 務 局 富 田 博
編集責任者	編 集 委 員 長 中 村 軍 治